

台東区立書道博物館



イラスト/なかだえり

「書道博物館」という名称から、和紙に書かれた美しい文字、珍しい硯や墨などを想像しながら、JR 鶯谷駅から狭い路地をたどって同館へ向かった。が、それはいい意味で大きく裏切られた。およそ3,500年前

の甲骨文に始まり、青銅器、玉器、陶瓶、石経、仏像など、漢字の成り立ちに関する様々な古美術品が展示されていたのだ。

中村不折という人物は明治から昭和初期にかけて活躍した洋画家・書家だが、「書」への探究心が高じて、中国・朝鮮半島などに残る「書」にかかわる資料を約16,000点(重要文化財12点、重要美術品5点を含む)も収集した偉人でもあった。

もとはといえば、新聞社で編集主任をしていた正岡子規のもとで、紙面の挿絵を描いていた不折だが、それが縁で二人は日清戦争の従軍記者として中国に赴くこととなった。そこで目にした拓本に魅了され、不折

の飽くなき収集が始まったのだ。

日本に帰ってからは古書店に足しげく通い、「不折先生のために」と中国の古い貴重な資料を買い付けてくる業者から、今という「大人買い」をしていた。

よくまあ、そんなに資金があったものだと不思議に思い、解説をしてくれた同館の研究員に尋ねると、不折が制作した絵や書は、当時、飛ぶように売っていて、それを資金に資料を買い集め、己の芸術の肥やしにしていたという。そして、そのコレクションをもとに「書道博物館」まで設立してしまったのだ(現在は、台東区に移管されている)。それも、当時では珍しい鉄筋コンクリート建築で。おかげで、空襲で根岸

今、ここにある美術品たちは、芸術に対する彼の執念の賜物なのかもしれない。

不折を知らない人も、「新宿中村屋」「神州一味噌」のロゴは見たことがあるだろう。実は、私たちは彼の「書」を巻てよく目しているの、調べてから同館を訪れると、より一層面白い。

3月12日からは新しい企画展が始まる。時間のある方はぜひ解説つきで(要予約)楽しんでほしい。面白秘話が聞けるのを楽しみに……。

ミニコラム 桜名所案内 花見情報

滝廉太郎の「花」でおなじみ、「春のうららの隅田川」と唄われる隅田川の花見。東京に桜の名所は数あれど、隅田川は、上野公園と並び歴史的にも最大級の名所のひとつではないでしょうか?

ちなみに江戸時代、寛永寺が公開した上野の桜がまず賑わい、次に飛鳥山(徳川幕府8代将軍吉宗の頃)が、そして天保(1830~44年)の頃に向島を筆頭に隅田川の花見が隆盛を迎えます。

数多くの浮世絵にもその様子が描かれ、庶民にも親しまれた桜の花見。「高声で花見花見とさそうなり」ともうたわれた隅田川。

花見にかこつけて遊ぶことは、今も昔も人々にとってなくてはならぬ春の風物詩です。やっぱり桜が咲いたらウキウキして出掛けたくなるのは人情ですね。

隅田川の花見、桜の咲いた隅田公園から眺める東京スカイツリー®は絶景です!

上野公園も多くの人が集い楽しんでい



▲谷中墓地の桜並木も美しい



▲上野公園



▲西郷隆盛像(UENO3153 展望デッキから)



▲屋形船での花見・観光も乙なものでしょうか



▲隅田公園

ますが、今年のニュースとしては西郷さんの銅像の付添、昨年旧・聚楽台レストラン跡に開業した「UENO3153」の屋上が、展望デッキになっており、西郷隆盛像のライトアップも行われています。上野の新たな夜景スポットとして人気が出そうです。

谷中墓地の桜並木も台東区の桜の名所。静かな町並みの中の桜には、上野・隅田川沿いの桜とはまた違ったおもむきが感じられます。

そうそう、昨年10月末から東京メトロ銀座線の浅草駅では、発車メロディに滝廉太郎作曲の「花」が、上野駅では森山直太郎作曲の「さくら」が使われています。ご存じでしたか?

812(弘仁3)年に嵯峨天皇が神楽苑(元・平安京大内裏)にて「花宴の節」を催したのが花見の始まりだといわれています。なんと1,200年以上前から日本人にとって大切な春の楽しみだったんですね!

マナーを守り環境を汚さず、素敵な花見になるようお楽しみください。花よりだんごも忘れずに。

観光情報誌「台東版」では引き続き広告を募集しています!

「台東版」に広告を出してみませんか?

次号Vol.5(夏号)▶7月発行予定

配布地域:台東区内および近隣区配布
発行部数:50,000部(予定)
発行:台東区役所文化産業観光部にぎわい計画課
規格:1冊(40mm×85mm) 販売価格:要問合せ
詳細は決定次第台東区ホームページで公開いたします
<http://www.city.taito.lg.jp/>

台東区役所文化産業観光部にぎわい計画課
TEL 03-5246-1141
FAX 03-5246-1515

編集後記:1年を振り返り、広告枠を埋めるべく、営業に奔走した日々を思い出し、思わず乾杯!!(1)・小さいけど、味わい深い台東区。まだまだ知らないことがたくさんある!と実感した1年でした。(H)・読者が煩雑で見苦しい回数もあったかと思えます。台東区の良さを少しでもお伝えしたかったです。16ページじゃ足りない!(S)・台東区内の楽しい・美味しい・美しい場所をたくさん巡って、街の素敵な方々にも会って、楽しかったです!(T)・1年間色々な人たちに触れられ、楽しい経験でした。まだまだ紹介したい場所が尽きない!おそろべ台東区。(Y)

台東区立浅草文化観光センター
年中無休 9:00~20:00
所在地:台東区雷門2-18-9
☎ 03-3842-5566

台東区観光ボランティアガイド
上野公園や浅草寺など、観光のまち台東区を無料でガイドいたします。
問合せ・申込み:☎ 03-3842-5599

発行:企画/台東区役所文化産業観光部にぎわい計画課
〒110-8615 台東区東上野4丁目5番6号
TEL:03-5246-1141 FAX:03-5246-1515
<http://www.city.taito.lg.jp/>

TAITO おでかけナビ
(台東区の公式観光情報サイト)
問合せ:台東区観光課
☎ 03-5246-1151
ホームページ <http://taitonavi.jp/> スマートフォン対応

台東区ホームページ (携帯電話用)
NITドコモ、au、ソフトバンクに対応。
<http://www.city.taito.lg.jp/m/index.html>

編集・制作・デザイン・印刷/
株式会社 ドゥーアーバン
イラスト/なかだえり
平成25年2月20日発行

270 VEGETABLE INK
登録商標 70%再生紙と植物性インキを使用しています